

南信州広域連合 基本構想・基本計画(第4次広域計画)(案)についての意見公募結果

平成27年2月2日 南信州広域連合 [

- 1 意見の公募期間□ 平成26年12月16日(火)から平成27年1月9日(金)まで
- 2 意見公募の対象□ 南信州広域連合 基本構想・基本計画(第4次広域計画)(案)
- 3 意見公募の方法□  
南信州広域連合ウェブサイトに掲載するとともに、南信州広域連合事務所、市町村担当課窓口において公表し、書面または電子メール等で意見を公募しました。
- 4 提出された意見と広域連合の考え方  
提出された意見については、整理の都合上、一部省略させていただいております。

意見項目	提出された意見	広域連合の考え方
1 南信地域の大観光地化	天竜川の源である諏訪から愛知県、静岡県为天竜川流域をエリアとする地域を一大観光地化し、地域の活性化に繋げる。	基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。 ご提案いただきましたように、天竜川流域には、JR飯田線を始めとして貴重な観光資源があります。 当地域では、既に三遠南信地域や伊那谷という単位で観光に関する連携事業に取り組んでいるところですが、ご提案の趣旨をその場において参考とさせていただきます。 今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。
2 早急に実行したい項目	①各自治体別に、再確認の意味を込め、地域に根付く「地場産業」「伝統文化」「景観・観光要素」をピックアップする。 ②次に南信州全区域からの視点で、ピックアップ事項の類型区分を行う。各項目を就業人口・生産ベース・誘客想定人員等により「数値化」し、特性を明確にする。 ③次にリア駅を基点として、ピックアップ事項のゾーニング区分。現況のまま変化・向上させる要所、現況維持で特性に磨きをかける要所を明確に。	基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。 今回の基本構想・基本計画の策定作業においては、「地域の誇り」や「特徴」などを類型化して「守るべきもの」として整理をし、改善すべき点などを「備えるべきもの」として整理しております。また、構成市町村の特性等に着眼したゾーニングについても、第3編第1章第1節第3項のプロジェクトにおいて、取り組むこととしており、ご提案の趣旨と方向は同じと考えます。 「数値化」というご提案に関しましては、構成市町村との調整などの課題もあり、今後の参考にさせていただきます。 今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。
3 南信州検定の実施を	リア時代を迎えるにあたって、郡市民は開通前に地元の産業及び観光について勉強し、レベルアップをしたいものです。そこで、南信州検定を実施し、各市町村の産業振興や観光の掘り起こしに繋げていければ良いと思う。	基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。 ご提案のとおり、多くの来訪者の皆さんとの交流を定住につなげていくためには、この地域に住む私たち自身が地域に対する見識を深める事が大切です。そうした意味で、ご提案の「南信州検定」も有効な取り組みの一つであると考えますが、どのような方法が良いかについては今後の検討課題とさせていただきます。 今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

意見項目	提出された意見	広域連合の考え方
<p>4</p> <p>第2編第1章「リニア将来ビジョン」における将来の地域像について</p>	<p>安倍政権の重点政策である地方創生を担う『まち・ひと・しごと創生本部』が昨年設置された事は既知であると思われます。その、まち・ひと・しごと創生本部の石破担当大臣が熱心な鉄道ファン、いわゆる「乗り鉄」である事実はご承知でしょうか？</p> <p>おそらくリニア中央駅が設置される山梨、岐阜、そしてここ南信州の周辺自治体が12年後の開業に向けてどのような取り組みをしてくるのか、石破担当大臣が注視しているであろう事は想像に難しくありません。</p> <p>大臣は今後の地方自治体の取り組みについて以下のように述べておられます。</p> <p>「これまでのトップダウン型の地方振興方式を改め、市町村単位での各自治体が掲げる振興策をまち・ひと・しごと創生本部が精査し、人的予算的両方のバックアップを行う方式とする。」</p> <p>「各自治体には振興策の努力目標と具体的な数値目標を設定させる。」</p> <p>「やる気のない自治体と判断した場合には中央から人的予算的バックアップは一切行わない。」</p> <p>以上の発言の通り表面的に取り繕った地方振興構想や概念などは相手にされず、県が消極的といった言い訳も今後は通用しません。早急にリニア開業に向けた広域連合としての努力目標と具体的な数値目標を設定し政府に強力にアピールするよう望みます。</p>	<p>広域連合の考え方</p> <p>基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。</p> <p>当地域には、政府の戦略に示された地域づくり施策の一つである定住自立圏協定を、平成21年から全国でもいち早く実施しているなどの実績もありますが、当地域がリニア時代を想定して地域づくりを進める上で、「地方創生」とどうリンクさせるかは、非常に重要な視点であると考えます。</p> <p>今回の基本構想・基本計画では、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が活用される「リニア時代」を見据える中で、私たちの飯田下伊那地域が全体として認識を共有して進むべき、地域づくりの「大きな方向性」とその具体化に向けた考え方や方途を示したものです。</p> <p>今後は、構成市町村がそれぞれの「果たすべき役割」、あるいは「期待される役割」を認識し、個性を活かしながら、特色ある地域づくりを進めることがその実現に繋がります。様々な取り組みの中では「特区」などの選択肢もありますが、構成市町村の意向も充分踏まえながら、広域連合としての役割を検討していきます。</p> <p>広域連合として数値目標を掲げる事が出来るかどうかは大変難しい課題ですが、政府へのアピールの方法などについては、更に検討していきたいと考えています。</p> <p>今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しく願い申し上げます。</p>
<p>5</p> <p>第3編第1章第3節 リニア中央新幹線開業に向けて望まれるインフラについて</p>	<p>J R 飯田線の将来に向けての存続とリニア新幹線長野県駅構内で乗降できる新駅の設置。そのためには飯田線を一部ルート変更する付け替えが必要である。</p> <p>J R 飯田線は、ご承知のように100円の収入を得るのに500円の支出があると言われている。J R 東海は飯田線はいつ廃線しても良いと考えている。これを廃線としないためにも、リニア駅との接続は必要条件と考える。</p> <p>したがって、公共交通としてのJ R 飯田線の位置づけは南信州広域連合の基本構想の一部とすべきと考える。</p>	<p>基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。</p> <p>ご提案の件につきましては、飯田市が開催している「リニア駅周辺整備基本構想検討会議」において議論され、J R 飯田線への「乗換駅新設」の方向が打ち出されています。</p> <p>リニア長野県駅へのアクセスに関しましては、他にも道路などのハードやソフトに関する課題があり、広域的な課題として別途検討されています。</p> <p>そうしたことから、今回の基本構想基本計画に盛り込んでおきませんが、今後とも検討に参画していきます。</p> <p>今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しく願い申し上げます。</p>

意見項目	提出された意見	広域連合の考え方
<p>第3編第1章第3節 リニア中央新幹線開業に向けて望まれるインフラについて</p>	<p>第1項 研究開発機能の拠点施設 今までの各工業地帯への企業誘致と同じような形をとらず、土地の無償貸与を優先し、法人税収入を地域に捻出していただく施設、または企業をたとえば飯田工業高校跡地や桐林の臼井川水源付近などに作っていただく。 研究企業としては薬品・光学系などの会社に来ていただければ関連した製造・開発企業が誘致できるのではないのでしょうか？</p>	<p>基本構想・基本計画案にご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。 ご提案いただきました「リニア中央新幹線開業に向けて望まれるインフラ」につきましては、基本構想・基本計画案において、「基盤整備のうち、特に優先度の高いと思われるもの」として整理いたしましたものと、大きな方向性は共有しているものと考えております。 今後、様々な課題の整理など、関係機関・団体などと連携し、具体的に検討してまいりたいと考えております。</p>
	<p>第2項 高等教育機関 製薬会社・農薬会社・ロボット製造製作会社などに関連した専門分野の機関もしくは都内大学のサテライト校＝学生の集う街の実現。すなわち近いところでは松本に見られる信州大学・松本大学の学生が地域活性化に一役買っているということ。せっかくリニアが通るんですよ。教授・先生・社長などリニアを使って行き来できる所得層を地域に取り込むことで、税収も増すのではないのでしょうか？</p>	<p>今後、様々な課題の整理など、関係機関・団体などと連携し、具体的に検討してまいりたいと考えております。 今後とも、ご理解・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。</p>
	<p>第3項 コンベンションセンター もっと広義に捕らえて文化会館の移築、もしくは新築を目指してはどうでしょう。海外から羽田・中部国際空港に降り、リニアにのって飯田市に来て、南信州シンフォニックホールで演奏をし、飯田の街中で飲食をし、温泉へ移動して宿泊してもらおう。そこに「おもてなし」が出来る仲居さんがいれば完璧！！広域連合でもしくは県で作っていただきたい。</p>	
	<p>第4項 スポーツ施設 飯田サッカー協会の方たちがスタジアムをと、お話されているのを見聞きして思ったことは、地元サッカーチーム（Jリーグに順ずる）がないためにもう1歩踏み込めないのではないのでしょうか？建設するには広大な土地が必要です。上郷丹保地区の天竜川西岸はもってこいかと思われませんが、交渉は大変かと。ですが、スポーツ合宿などで100人単位で人が集まることで宿泊施設・飲食施設・娯楽施設・もちろんフィールドが受け入れることで潤うと思います。そこに地域としての収入源（興行に関する収入・使用料・ロイヤリティ）などが発生することで、地域収入となります。大きな大会（国際試合）に利用できる体育館。これはコンベンションセンターに通ずるのですが、小さな国際都市を目指すのなら、国際大会が開ける会場は必須条件ではないのでしょうか？スポーツは世界共通の娯楽です。サッカースタジアムが出来れば日本代表の練習もしくは国際試合の会場に。リニアに乗って海外からも人が来ます。南信州に泊まり、駒ヶ岳へ高遠へ諏訪湖への観光拠点となり南信州が南信地区に経済効果を生み出します。 広域連合が提言して、JR東海にJリーグに順ずるチームを作ってもらったらどうでしょう。このたびJ1に昇格した松本山雅に見るように サッカーサポーターは未曾有です。松本へは南信州からも2～300人のサポーターが応援に行き、松本・塩尻でお金を使ってきています。スタジアムが出来ればライブコンサートも人を呼べるのではないのでしょうか？リニアに乗ってバンドやグループが来る。追いかけるファンが、リニアに乗って来飯する。ファンミーティングも出来れば温泉や宿泊施設・街中の飲食店へ経済効果が見込まれる。利用価値が盛りだくさんのスタジアム構想は是非かなえていただきたいと思います。</p>	